

## 『東京 島めぐり 伊豆諸島・小笠原諸島魅力紹介ハンドブック』紹介

東京の島しょ地域には、大小約200の島々があり、人々が暮らしている島が11島あることをご存知ですか？

伊豆諸島は、大島、利島、新島、式根島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島、青ヶ島の9島で、2町6村で構成されます。

小笠原諸島は、父島、母島の2島で、行政上は小笠原村1村となります。

当調査会ではこれら島の魅力を余すところなく紹介したコンパクトな冊子を刊行しました。

この小冊子から島の魅力をよりすぐり、ご紹介します。

島は本土にはない魅力的な自然、文化、観光スポットや食文化の宝庫です。

島に行く際は是非この小冊子をお手に取り、島の魅力を感じ、イメージを膨らませてくださいね。



2020年3月刊行  
当調査会で無料にて配布しているほか、以下のホームページでもご覧いただけます。  
<https://www.tama-100.or.jp/>

## 観光



(写真：新島)

伊豆諸島・小笠原諸島の観光といえば、ダイビング、海水浴、サーフィン、釣り、ホエールウォッチングなど海のレジャーが挙げられます。

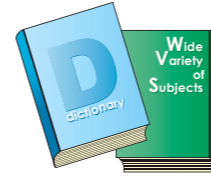
ほかにも火山活動によって形成された独特な島の景観を楽しんだり、歴史ある神事や特産品に関するイベントを楽しむことができます。

近年は、サイクルイベントやバイクレースなどスポーツイベントへの参加を目的に来島する人も増えています。

島しょ地域を訪問する際は、新型コロナウイルス感染症に関連した来島自粛要請について、島しょ町村や観光協会などから最新の情報を入手し、訪問の是非をご判断ください。



## 多摩交流センターだより



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2020年8月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	会場
8月6日(木) 13:50から	人生100年時代! 知っておきたい“人生の備え”	下道 敏行 氏 (社)終活協議会 上級コンシェルジュ	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
8月13日(木) 14:00から	日本における 外国人観光客(インバウンド) の日本経済への影響	春原 豊司 氏 (株)コミュニケーション科学研究所代表理事	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
8月20日(木) 14:00から	身近な品を使った理科工作	鈴木 誠史 氏 (サイエンスインストラクター元埼玉大学教授・ 元郵政省通信総合研究所長)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
8月27日(木) 14:00から	ウグイスってなにもの? —知られざる私生活をのぞく—	和田 勝 氏 (東京医科歯科大学名誉教授)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

「多摩交流センターだより」の問合せ先

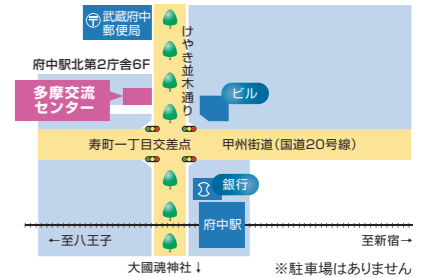
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



## 編集後記

- 梅雨が明けると、いよいよ夏がやってきます。ぐるり39の「表紙」と「裏面」は、夏季には東京の島しょ町村を紹介しており、7月号は小笠原村の美しい景色が紙面を飾ります。夏は、島の魅力を堪能できる絶好の季節です。特に、小笠原諸島は世界自然遺産にも登録されており、一生に一度は訪れたい場所とされています。今年の春先はコロナ禍でGW中の移動が自粛され、引き続き夏の旅行も「警戒しつつ、旅行先の状況を確認してから慎重に…」ということになりそうですが、東京の島々も例外ではありません。医療体制が本土に比べて脆弱な島への観光はなおさらです。感染が収束した後は美しい島々を訪れ、島の経済を応援したいものです。
- さて、早くも年度の4分の1が過ぎてしまいました。夏前までに予定していた計画の多くが、コロナ禍で延期や中止が余儀なくされました。それだけではなく、これまで当たり前と思っていた事業・イベントなどの意義や人々の働き方、生活様式までも次々と考え直されています。緊急事態宣言の期間中は、スポーツや芸術、観光などは不要不急、感染拡大につながるものとされ、命を守るために必要不可欠な医療や生活の維持が優先されました。さらに、仕事も一部自粛が求められ、苦しい日々が続く、容易には業績の回復ができそうにないという大きな負債を社会全体が抱えています。
- 「危機に瀕しては本質が表れる」と言います。人間は本

来、社会性を持つ生き物なので、生きるために他者と交流・共感・協力しあう場が不可欠であることが、今回の経験を通じて身に染みて感じた人も多かったと思います。

不要不急とされ、中止や延期されたスポーツや芸術、観光など様々な文化的な営みは、何のためだったか。

また、その影響を受けた人々をどう支援し、事業を再開していくのが社会に問われています。

文化の発展は人間の生活向上と不可分であり、発展している社会ほどこれらの影響が大きく、関係する人々も多数にのぼります。

今、スポーツ界や各地の文化施設では人数制限やライブ配信など様々な工夫を凝らし、新しい生活様式に沿うように変化しながら事業が行われています。

旅行業や宿泊施設でも同様に「密」を避ける対策が進んでいます。

これらを生業とする人々はパフォーマンスの発揮やサービスを提供できる場が戻り、支持・支援し続けてくれる人がいることを、また、利用する側の人々も楽しむことができる幸せを、互いに深く感謝しあっているのではないかと思います。

○ 今後は、感染症の第2波・第3波への対応準備や警戒と並行して『回復&変容』が社会のキーワードになるものと考えられます。

まだまだ前のめりになることなく、この夏以後についても『油断大敵』で無事に過ごしたいと思います! (M.N)

サマージャンボ 7 億円

1等前後賞合わせて7億円  
1等5億円、前後賞各1億円

ランキージャンボ 2000万円

サマージャンボ 1 千万円

1等1,000万円

この宝くじの収益金は  
区市町村の明るく  
住みよいまちづくりに  
使われます。

PCやスマホからも  
インターネット購入  
できます!

宝くじ公式サイト  
<https://www.takarakuji-official.jp/>

7月14日(火) 同時発売 各1枚300円  
発売期間 7月14日(火)~8月14日(金)  
抽せん日 8月21日(金)